

平 25 年 3 月 7 日

JSPS 先端拠点形成事業による派遣研究者研究報告書

所属部局・職 野生動物研究センター・博士課程後期

氏 名 松川 あおい

1. 派遣国名 マレーシア・サバ州

2. 研究課題名

3. 派遣期間（本邦出発から帰国まで）

平成 24 年 6 月 6 日～ 平成 24 年 9 月 23 日 （109 日間）

4. 主な受入機関及び受入研究者

サバ州立大学熱帯生物学保全研究所所長 アブドゥル・ハミド博士

5. 所期の目的の遂行状況及び成果（研究内容、調査等実施の状況とその成果）

ボルネオ島には、3種類のヤマアラシ科動物が同所的に生息している。これは、珍しいケースであるにも関わらず、熱帯雨林に生息する夜行性動物であるため、これまで調査が難しく、アジアの熱帯雨林に生息するヤマアラシの先行研究はほとんどない。

カビリ・セピロク森林保護区において、ネズミヤマアラシ3個体の捕獲に成功し、そのうち2個体にラジオテレメトリ調査用の発信機をつけ、夜間の追跡や直接観察を行った。その結果、コドモが生まれたあともペアが持続することや、頻繁に昼間過ごす巣穴を変えることがわかった。

6. その他（特記事項など）

特になし



Bushnell

11-24-2012 00:03:38

カメラトラップで撮影したヤマアラシ



倒木の中で休息するヤマアラシ